株式会社ツカモトコーポレーション

2027年3月期
第２四半期（中間期）
決算説明資料

2026年11月13日

目次

1. 中間連結業績ハイライト
2. 中間連結計算書類
3. セグメント実績
4. 業績予想
5. 今後の見通し

中間連結業績ハイライト：2026年第２四半期（中間期）ハイライト

（百万円）

	2024年第２四半期	2025年第２四半期	2026年第２四半期	前年差
売上高	4,245	4,740	**5,530**	790
営業損失（△）	△ 253	△ 102	△ **31**	70
経常利益又は経常損失（△）	△ 181	10	**115**	104
親会社株主に帰属する中間純利益 又は中間純損失（△）	△ 121	12	**83**	71

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

中間連結業績ハイライト：トピックス

▶洋装事業におけるユニフォーム事業は、直需・レンタル案件の受注好調により増収増益となり、連結業績をけん引。 建物の賃貸業も概ね前年同期並みの状況を維持し、安定した収益基盤として貢献。

▶健康・生活事業は、テレビ等通信販売・ＥＣ販売およびサウナ機器の販売が堅調に推移し、売上高が前年同期比12.3％増。 一方、家電量販店向け販売の減少もあり、損失の改善は限定的となった。

▶洋装事業におけるアパレル事業、ホームファニシング事業は、不採算売場や直営店舗からの撤退など、選択と集中により損益が改善。 アパレルは海外生産のレディスＯＥＭ事業からも撤退し、収益性を重視した事業運営を推進。

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

目次

1. 中間連結業績ハイライト
2. 中間連結計算書類
3. セグメント実績
4. 業績予想
5. 今後の見通し

中間連結計算書類：中間連結損益計算書

（百万円）

	2024年第２四半期	2025年第２四半期	2026年第２四半期	前年差	前々年差
売上高	4,245	4,740	**5,530**	790	1,285
売上総利益	1,299	1,513	**1,618**	104	318
（売上総利益率）	30.6%	31.9%	**29.3%**	△ 2.7pp	△ 1.4pp
販売費及び一般管理費	1,553	1,615	**1,649**	34	96
営業損失（△）	△ 253	△ 102	△ **31**	70	222
（営業利益率）	―	―	―	―	―
営業外収益	134	189	**246**	57	112
営業外費用	61	76	**99**	22	37
経常利益又は経常損失（△）	△ 181	10	**115**	104	297
（経常利益率）	―	0.2%	**2.1%**	1.9pp	―
税金等調整前中間純利益又は中間純損失（△）	△ 181	10	**115**	104	297
親会社株主に帰属する中間純利益又は中間純損失（△）	△ 121	12	**83**	71	205

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

中間連結計算書類：中間連結貸借対照表

（百万円）

	前連結会計年度末（26/3/31）	2026年第２四半期		前連結会計年度末（26/3/31）	2026年第２四半期
資産の部	31,385	**34,989**	負債の部	15,226	**16,416**
流動資産	5,963	**6,016**	流動負債	8,899	**8,943**
固定資産	25,422	**28,973**	固定負債	6,326	**7,473**
有形固定資産	12,674	**12,634**	純資産の部	16,159	**18,572**
無形固定資産	77	**81**	資本金	2,829	**2,829**
投資その他資産	12,671	**16,257**	資本剰余金	713	**713**
			利益剰余金	6,418	**6,381**
			自己株式	△ 42	△ **42**
			その他包括利益累計額	6,239	**8,690**
資産の部合計	31,385	**34,989**	負債純資産合計	31,385	**34,989**

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

中間連結計算書類：中間連結キャッシュ・フロー計算書

（百万円）

	2025年 第２四半期	2026年 第２四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 763	**297**
投資活動によるキャッシュ・フロー	206	**△ 6**
財務活動によるキャッシュ・フロー	75	**△ 114**
現金及び現金同等物の期首残高	2,063	**1,315**
現金及び現金同等物の期末残高	1,582	**1,492**

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

目次

1. 中間連結業績ハイライト
2. 中間連結計算書類
3. セグメント実績
4. 業績予想
5. 今後の見通し

セグメント実績：セグメント別売上高及びセグメント利益又は損失（△）

	セグメント売上			セグメント利益又は損失（△）			(百万円)
	2025年第２四半期	2026年第２四半期	差	2025年第２四半期	2026年第２四半期	差	
和装事業	417	421	+4	△94	△99	△5	
洋装事業	2,463	3,103	+640	133	224	+91	
ホーム ファニシング事業	137	135	△1	△149	△77	+72	
健康・生活 事業	1,241	1,394	+153	△185	△177	+9	
建物の賃貸業	538	534	△4	292	278	△14	

セグメント実績：和装事業

▶催事販売： 不採算催事の見直しによる効率化を進めた一方、新規集客に苦戦し、催事販売の売上は前年を下回った。

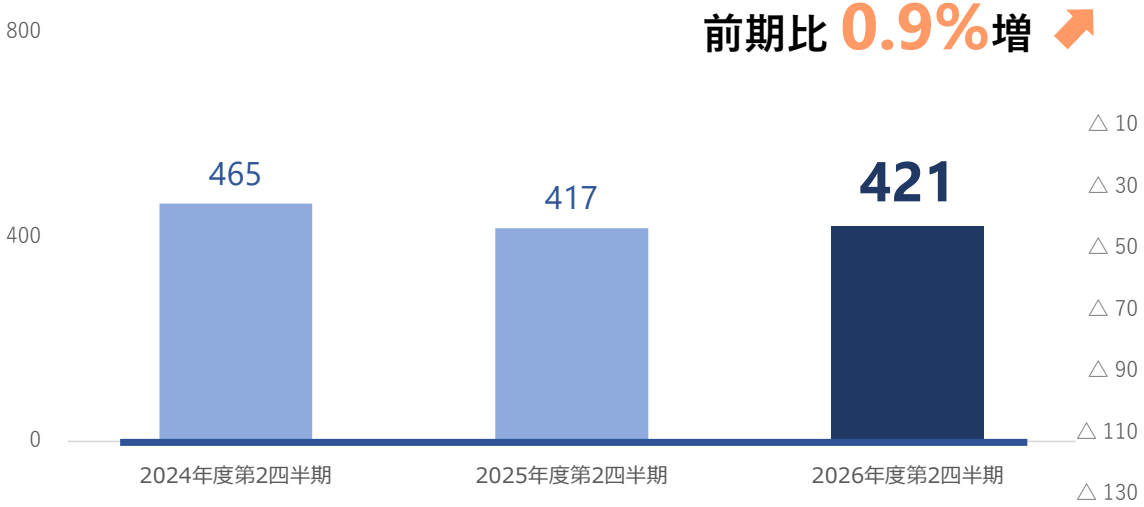
▶加工:百貨店向け加工の受注が堅調に推移した。

▶ダイレクト販売:店頭での販売に加え、ECサイトの整備やSNSでの情報発信など顧客接点の拡大を推進した。

（百万円）

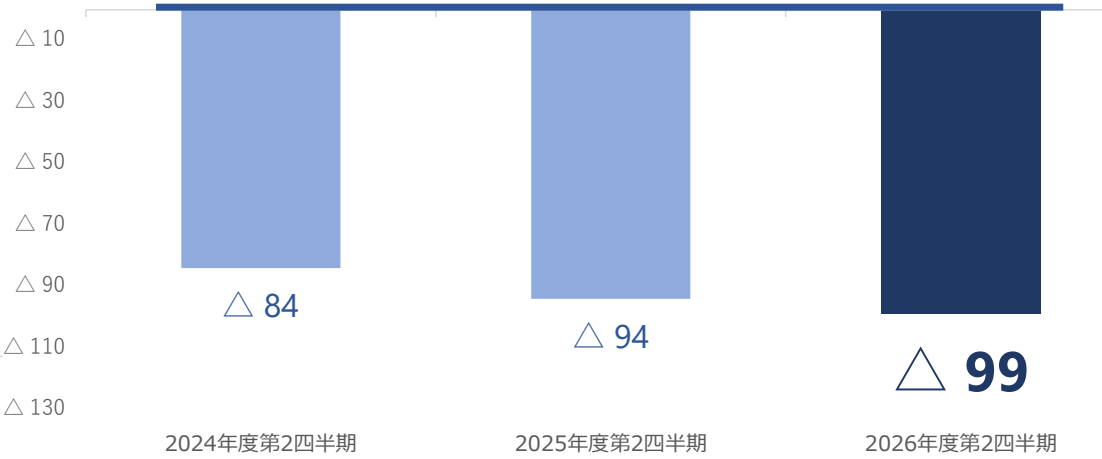
【売上高】

前期比 0.9%増



【セグメント損失（△）】

前期差 5 損失の拡大



TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

セグメント実績：洋装事業

アパレル事業

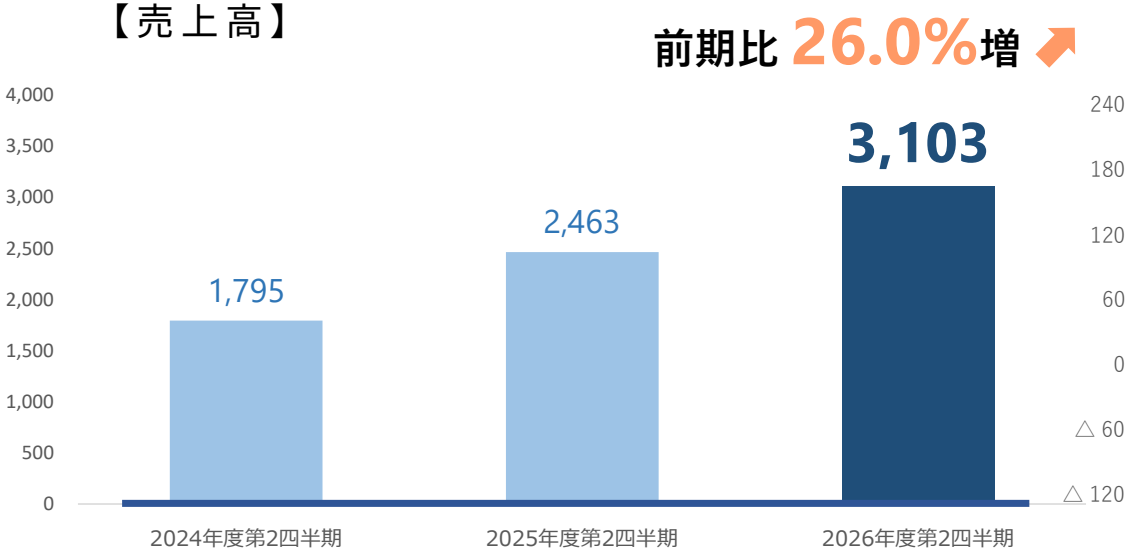
▶メンズの不採算売場からの撤退と、レディスＯＥＭの海外生産からの撤退を進め、採算重視の事業運営を推進し、減収となったものの損益は改善した。

ユニフォーム事業

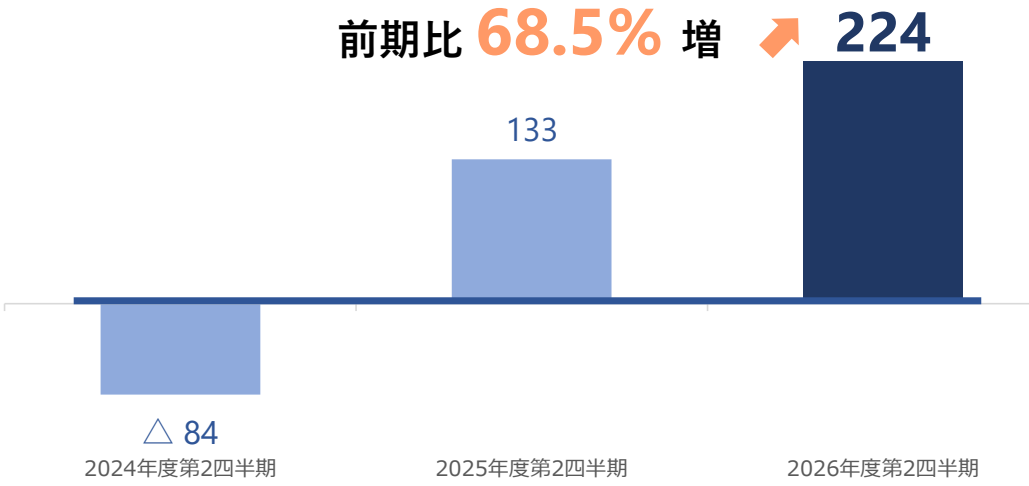
▶ 百貨店部門・直需部門での大型案件への提案営業と、レンタルユニフォームの拡大を推進したことにより、新規受注やレンタル導入開始につながり増収となった。

（百万円）

【売上高】



【セグメント利益又は損失（△）】



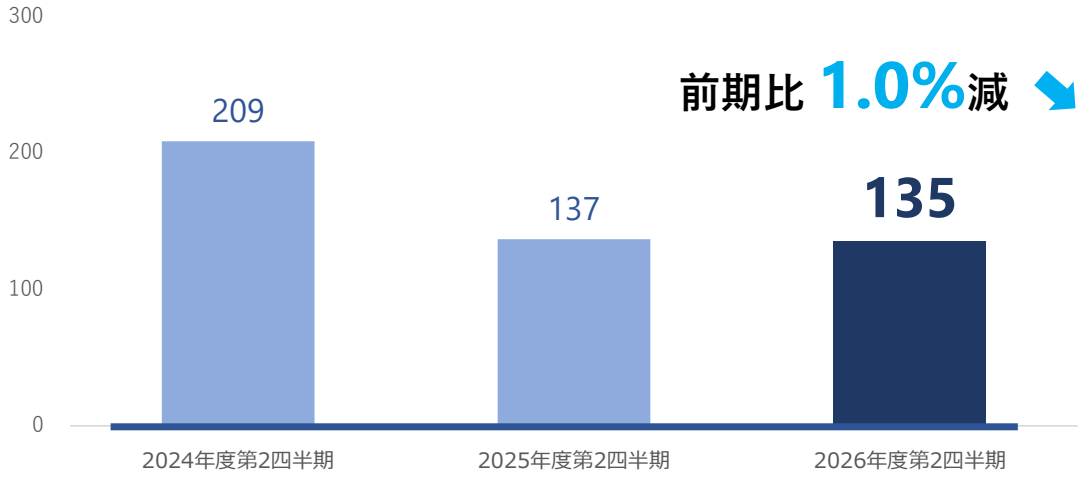
TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

セグメント実績：ホームファニシング事業

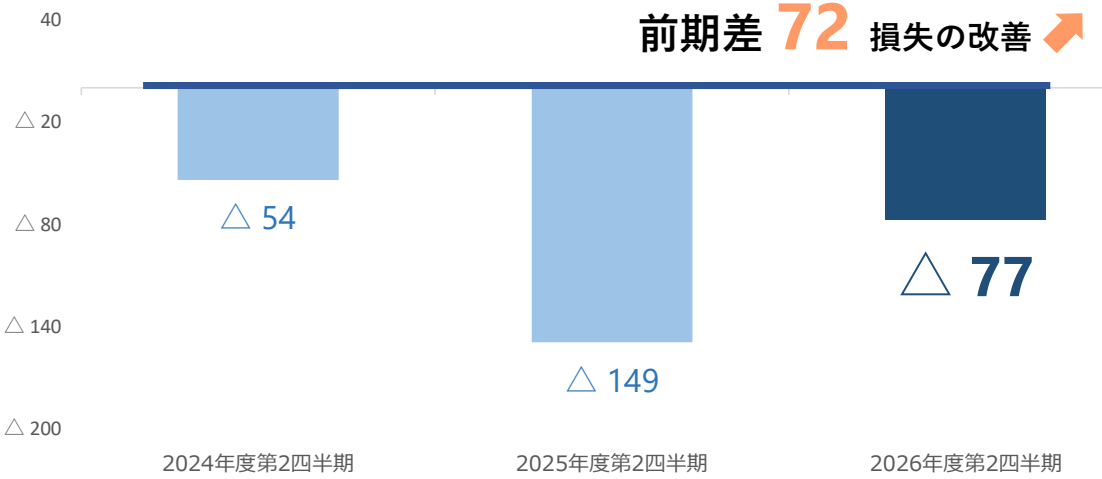
▶量販店向けにルームウェア・寝具・雑貨の提案を強化。
▶直営店撤退に伴う経費削減により損益は改善。

（百万円）

【売上高】



【セグメント損失（△）】



TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

セグメント実績：健康・生活事業

エイム事業

▶テレビ等通信販売では受注の獲得や取引条件の見直しを進め、一部案件で採算が改善した。

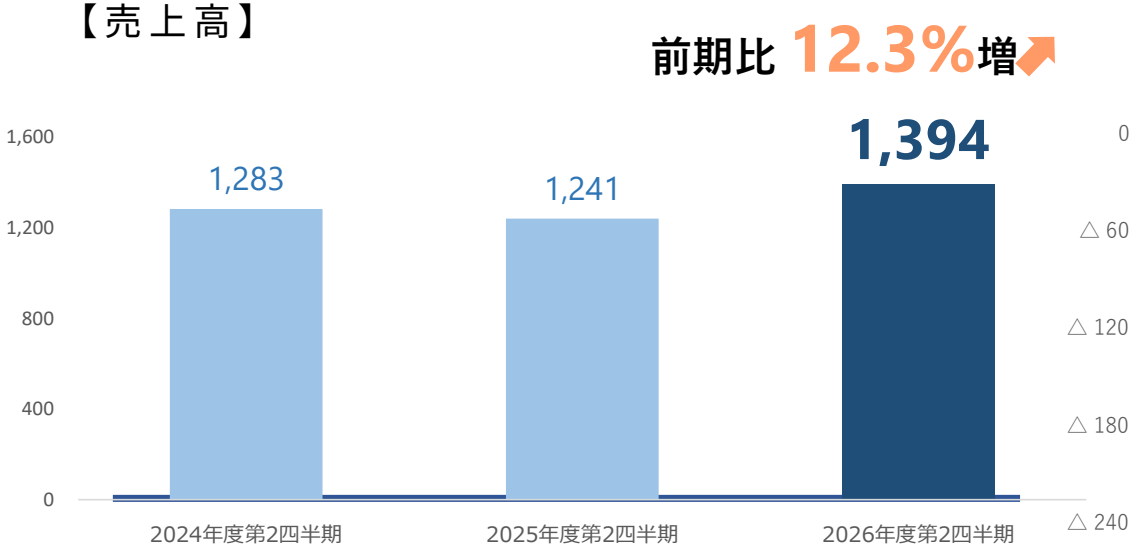
▶在庫の販売を進めるとともに、不採算案件の見直しなど、収益性の改善に取り組んだ。

ウェルネス（サウナ）事業

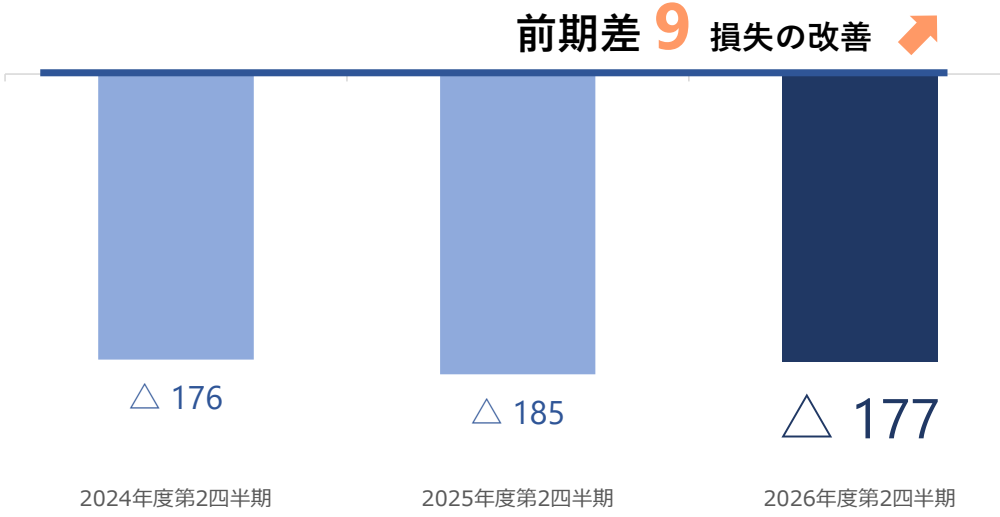
▶サウナ機器の販売や施工案件への対応に加え、ハウスメーカー・代理店への営業を進め、
継続取引の拡大と販路開拓に取り組んだ。

（百万円）

【売上高】



【セグメント損失（△）】



TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

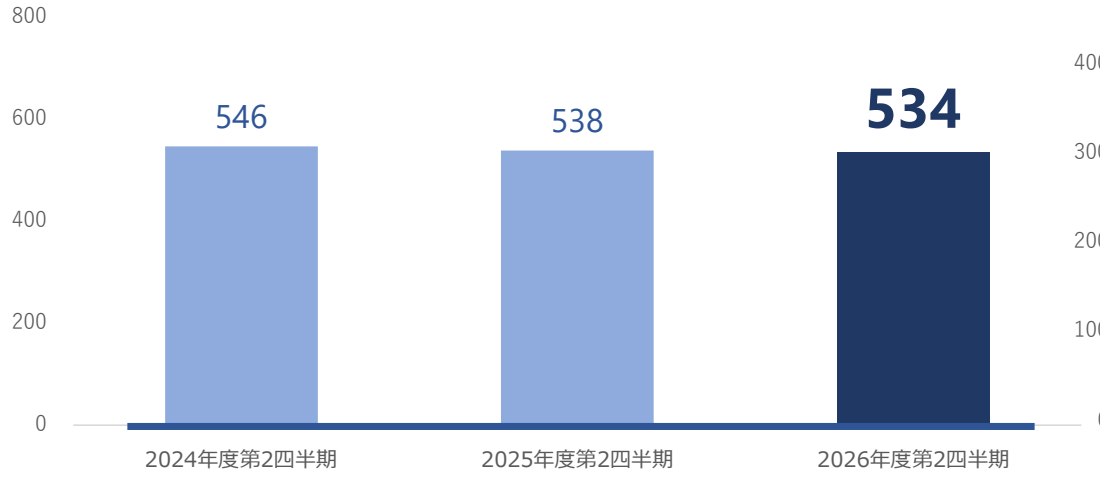
セグメント実績：建物の賃貸業

▶テナントの入居状況は概ね前年同期並みで推移したものの、費用の増加により減益となった。

（百万円）

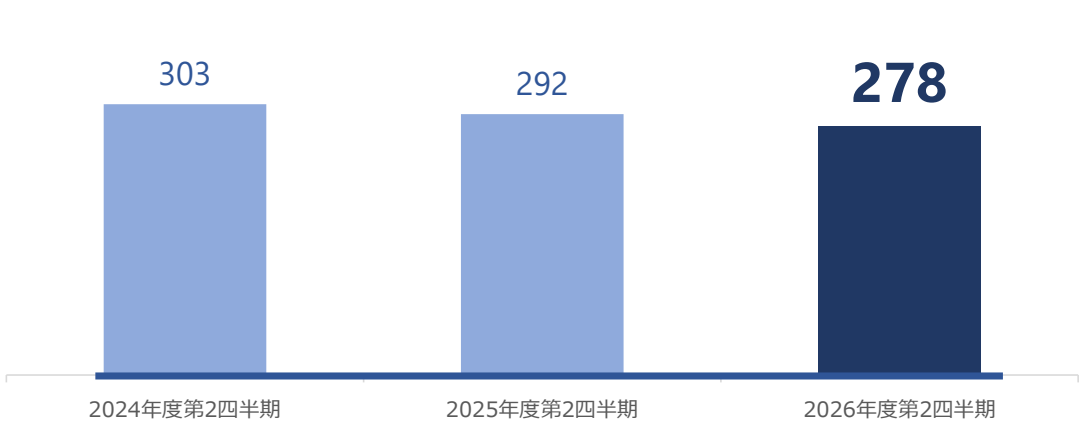
【売上高】

前期比 0.7%減



【セグメント利益】

前期比 4.8%減



TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

目次

1. 中間連結業績ハイライト
2. 中間連結計算書類
3. セグメント実績
4. 業績予想
5. 今後の見通し

連結業績予想

（百万円）

	2025年 3月期実績	2026年 3月期実績	2027年 3月期予想
売上高	9,681	10,106	**10,000**
営業利益	△ 332	17	**70**
経常利益	△ 210	181	**200**
当期純利益	△ 380	177	**150**

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

※今後の市場動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には直ちに公表いたします。

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

目次

1. 中間連結業績ハイライト
2. 中間連結計算書類
3. セグメント実績
4. 業績予想
5. 今後の見通し

和装事業

催事依存からの脱却に向け、採算重視の取引先・催事の選別を進めるとともに、消費者への直接販売と仕立・お直しサービスを育成する。



✓採算性に基づく取引先・催事の選別と集中

▶ 進捗：主要取引先への重点的な催事提案。SNS活用による自社催事への直接集客に着手。

✓店舗やSNSを通じた情報発信や、リユース事業を推進。

▶ 進捗：リユース着物販売プロジェクトを立ち上げ。小売店舗は2027年1月に京都へ移転予定。

✓仕立・お直しサービスの拡充による継続的な収益基盤づくり

▶ 進捗：百貨店の加工受付体制を整備するとともに、既存取引先との加工取引拡大に向けた商談を推進。





TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

中期経営計画期間（2026年度～2028年度）の取り組み

洋装事業

アパレルのブランド・売場集約による採算性の改善と、ユニフォームの課題解決型商品・サービスの開発を進める。



✓アパレルのブランド一本化と売場集約

▶ 進捗：ケンコレクションへの一本化に向け、売場の移動・集約を実施。
採算性を基準に、継続売場の収益改善に取り組む。

✓ユニフォーム直需部門の大型案件獲得による安定収益の確保

▶ 進捗：大型案件の継続的な獲得に向け、直需顧客への提案活動を推進。既存取引の維持・拡大と新規案件の開拓に取り組む。

✓課題解決型商品の開発と継続型ビジネスの育成

▶ 進捗：暑熱対策商品の実証提案を進めるとともに、レンタルの見積・契約・運用フローの標準化を推進。

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

ホームファニシング事業

ブランド・IPを活用した生活関連商材の提案を強化し、大手量販店との取引基盤の拡充と新規販路の開拓を進める。

✓大手量販店向けの商品提案強化と取引基盤の拡充

▶進捗：ルームウェア・寝具・ファッション雑貨の提案を推進。テスト販売や新商品の商談を進める。

✓ライセンスブランドとキャラクターIPのコラボレーション企画を推進

▶進捗：Hanesブランドと、キャラクターIPを組み合わせた商品企画・提案を推進。

✓「YASHICA」カメラのコンビニ定番化

▶進捗：コンビニでの展開を全国展開へ拡大。





TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

健康・生活事業

**エイム部では不採算取引の縮小と余剰在庫の削減による収益構造の改善を進め、
ツカモトウェルネスではサウナ機器・施工・メンテナンスを組み合わせた提案を強化する。**

✓不採算取引の縮小と余剰在庫の削減

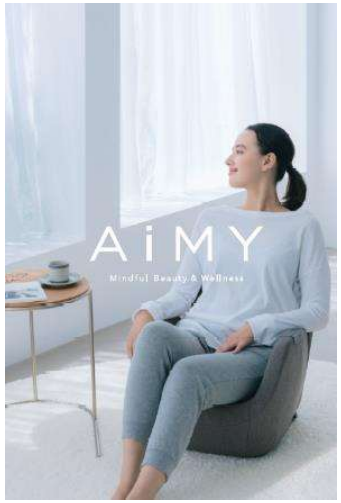
▶進捗：取引条件の見直し交渉と重点販路への営業集中を推進。余剰在庫の販売促進に取り組む。

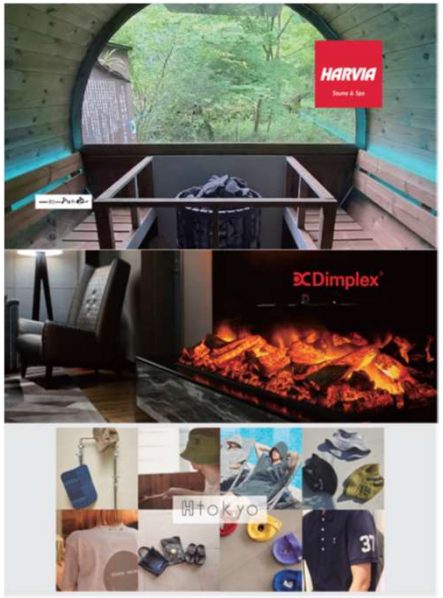
✓サウナの大型案件開拓の継続

▶進捗：ハウスメーカー・ゼネコン向けに、採算性を重視した大型案件の提案・商談を推進。
西日本での販路拡大と施工対応力の強化に向けた体制整備にも取り組む。

✓メンテナンス・関連製品による継続取引の育成

▶進捗：サウナ導入先へのメンテナンス契約と関連製品の提案を推進。継続的な取引につなげる。





TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

固定資産の譲渡に及び特別利益の計上について

当社は、保有資産の見直しを進める中で、資産効率の向上および収益基盤の強化を目的として、当社所有の固定資産を譲渡することといたしました。また、経営基盤の強化のため、今後賃貸用不動産を取得し、長期的かつ安定的な収益を確保および企業価値の向上を図ってまいります。

譲渡資産の内容

資産の名称及び所在地	譲　渡　益	現　　況
目黒区のオフィスビル	約３,８００百万円予定	賃貸用不動産

譲渡の日程

取締役会決議日	2026年10月28日
譲渡契約締結日	2026年11月２日
物件引渡日	2027年３月31日（予定）

譲渡先

譲渡先は、国内法人ですが、譲渡先の意向により、詳細は非開示とさせていただきます。なお、当社は譲渡先に対し、一部取引はありますが、資本関係・人的関係・関連当事者への該当状況につきましては、該当事項はありません。

今後の見通し

2027年3月期第4四半期決算（連結・個別）に固定資産売却益を特別利益として計上予定。
通期業績予想は現在精査中であり、開示が必要な場合は速やかに開示する予定です。

注：譲渡価額、帳簿価額および決済方法は、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます。譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額と譲渡にかかる費用の見積額を控除した概算額です。

TSUKAMOTO © Tsukamoto Corporation co.,ltd. All Rights Reserved

TSUKAMOTO CORPORATION

株式会社ツカモトコーポレーション

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。